平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月29日

上場会社名　株式会社 船井総合研究所　　上場取引所　東
コード番号　9757　URL　http://www.funaisoken.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 高嶋　栄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 スタッフ統括副本部長　(氏名) 奥村　隆久　TEL 06-6232-0130

四半期報告書提出予定日　平成25年8月9日　配当支払開始予定日　平成25年8月27日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	4,780	12.1	1,350	18.5	1,384	25.5	1,153	72.9
24年12月期第2四半期	4,265	8.0	1,139	43.1	1,102	39.3	666	123.8

(注)包括利益　25年12月期第2四半期　1,205百万円　(72.1%)　24年12月期第2四半期　700百万円　(174.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	40.98	40.79
24年12月期第2四半期	23.71	23.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	18,446	15,276	82.7
24年12月期	17,347	14,456	83.2

(参考) 自己資本　25年12月期第2四半期　15,247百万円　24年12月期　14,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	―	10.00	―	16.00	26.00
25年12月期	―	10.00			
25年12月期(予想)			―	18.00	28.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年 1月 1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,650	6.8	2,450	8.6	2,450	10.7	1,800	35.8	63.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。
詳細は、添付資料P.5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	31,251,477 株	24年12月期	31,251,477 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	3,049,124 株	24年12月期	3,118,175 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	28,147,676 株	24年12月期2Q	28,133,567 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.4「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○目　次

１．当四半期決算に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・２

(1)　連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・２
(2)　連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・３
(3)　連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・４

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項・・・・・・・・・・・・・５

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・５
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・５
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・５

３．四半期連結財務諸表　・・・・・・・・・・・・・・・６

(1)　四半期連結貸借対照表　・・・・・・・・・・・・・・・６
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・８
(3)　四半期連結キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・・・・・10
(4)　継続企業の前提に関する注記　・・・・・・・・・・・・・・・12
(5)　セグメント情報等　・・・・・・・・・・・・・・・12
(6)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・12

４．補足情報　・・・・・・・・・・・・・・・13

(1)　受注及び販売の状況　・・・・・・・・・・・・・・・13

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出環境の改善や経済対策、金融政策の効果が発現するなかで、日経平均株価が大きく上昇するなど、着実に持ち直しております。また、雇用情勢にも改善の兆しが見られ、今後の景気回復が期待される状況にあります。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、主力の経営コンサルティング事業の業績向上により、連結経営成績は前年同四半期と比較し増収増益を達成することができました。

①売上高・・・4,780百万円（前年同四半期比12.1%増）

経営コンサルティング事業におきまして、業種、テーマごとに開催している経営研究会の会員数が順調に増加したことにより、支援型コンサルティングの受注件数が大きく増加し、安定的成長を続けることができました。

その他の事業のＩＴ関連業務におきましても、ＩＴコンサルティングの受注件数の増加により順調に業績を伸ばすことができました。

その結果、売上高は前年同四半期に比べて12.1%増の4,780百万円となりました。

②営業利益・・・1,350百万円（前年同四半期比18.5%増）

上記の売上増加の要因のほかに、前年から引続き営業活動の効率化及び固定費の削減に取り組んだことにより、営業利益率が28.3%（前年同四半期は26.7%）となりました。

その結果、営業利益は前年同四半期に比べて18.5%増の1,350百万円となりました。

③経常利益・・・1,384百万円（前年同四半期比25.5%増）

営業外収益が44百万円、営業外費用が10百万円となり、経常利益は前年同四半期に比べて25.5%増の1,384百万円となりました。

④四半期純利益・・・1,153百万円（前年同四半期比72.9%増）

特別利益が投資有価証券の売却益等により140百万円、特別損失が58百万円、法人税等合計が船井キャピタル株式会社の解散に伴う法人税等の圧縮効果により313百万円にとどまったことにより、四半期純利益は前年同四半期に比べて72.9%増の1,153百万円となり、大幅増益を達成いたしました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①経営コンサルティング事業

経営コンサルティング事業におきましては、前年同四半期を上回る収益を確保いたしました。

主力部門である住宅不動産、レジャー・アミューズメント業界向けコンサルティングにおきましては、順調に業績を伸ばし、前年同四半期比でそれぞれ約10%増で推移しております。それに続く準主力部門となる士業業界、外食・フード業界、自動車関連業界向けコンサルティングにおいても堅調に推移し、全体の業績向上に大きく寄与いたしました。その他、中堅・大手企業を中心とした戦略系コンサルティング分野や、当期より人員増、体制強化を図っている医療・介護業界向けコンサルティング分野について好調である点が当期の特徴であります。特に医療・介護業界向けコンサルティングにおいては、昨年の２倍の収益をあげることができました。

業務区分別に見ると、当事業の売上高の７割以上を占める支援型コンサルティングにおいて前年同四半期に比べて約15%増となりました。これは主に、経営研究会をはじめとした顧客基盤の整備や、経営相談窓口業務を行うコミュニケーションセンターにおいて既存顧客・新規顧客との関係構築の強化により受注が安定したことによるものです。

その結果、売上高は4,669百万円（前年同四半期比12.0%増）、営業利益は1,349百万円（同18.7%増）となり増収増益を達成いたしました。

②ベンチャーキャピタル事業

ベンチャーキャピタル事業におきましては、新たな投資は控えており、今後の収益が見込めない状況であります。

その結果、売上高を確保することができず、営業損失は22百万円（前年同四半期は営業損失12百万円）となりました。

なお、ベンチャーキャピタル事業を営む船井キャピタル株式会社につきましては、平成25年６月28日開催の同社臨時株主総会にて解散を決議し、現在、清算手続中であります。

③その他

その他の事業のＩＴ関連業務におきましては、ＩＴアウトソーシングが計画どおり進捗しなかったものの、ＩＴコンサルティングにおいて前連結会計年度より定期勉強会やセミナーを積極的に行い、顧客基盤を拡充したことに伴い、計画を上回る実績を計上することができました。

その結果、売上高は110百万円（前年同四半期比13.2%増）、営業利益は20百万円（同57.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産の部）

当第２四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,098百万円増加し、18,446百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2,011百万円増加し、9,405百万円となりました。これは主に、現金及び預金、流動資産のその他に含まれる繰延税金資産が増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて912百万円減少し、9,041百万円となりました。これは主に、投資有価証券、投資その他の資産のその他に含まれる長期預金が減少したことによるものであります。

（負債の部）

当第２四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて278百万円増加し、3,169百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて213百万円増加し、2,247百万円となりました。これは主に、流動負債のその他に含まれる未払金が増加し、１年以内返済予定の長期借入金が減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて65百万円増加し、922百万円となりました。これは主に、社債が増加したことによるものであります。

（純資産の部）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて819百万円増加し、15,276百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。

（自己資本比率）

当第２四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて0.5ポイント減少し、82.7%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて1,563百万円増加し、5,354百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は877百万円（前年同四半期は719百万円の資金の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が1,466百万円となり、減価償却費が104百万円、法人税等の支払額が520百万円、役員退職慰労金の支払額が154百万円となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は1,092百万円（前年同四半期は419百万円の資金の使用）となりました。これは主に、有価証券及び投資有価証券の取得及び売却による差引収入が1,144百万円となったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は410百万円（前年同四半期は401百万円の資金の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額が448百万円となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

国内経済の先行きについては、輸出が持ち直し、各種政策の効果が発現するなかで、企業収益の改善が家計所得や投資の増加につながり、景気回復へ向かうことが期待されます。

このような状況において、経営コンサルティング事業におきましては、引き続き住宅・不動産業界、レジャー・アミューズメント業界をはじめとする主力分野を中心に、積極的にコンサルタントの採用、教育を強化し、増員を図りながら、更なる業績の拡大に努めてまいります。

また、当社は「マーケティングの船井総研」という既存の事業分野の強みに加え、今後は「人材開発の船井総研」のブランド作りに取り組んでまいります。

その他の事業のＩＴ関連業務におきましても、経営コンサルティング事業との連携を促進し、営業活動の強化を図ってまいります。

なお、通期の連結業績予想につきましては、売上高9,650百万円、営業利益2,450百万円、経常利益2,450百万円、当期純利益1,800百万円を見込んでおります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、特定子会社である船井キャピタル株式会社は、平成25年６月28日開催の同社臨時株主総会において解散を決議し、現在、清算手続中であります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成25年１月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,690,622	5,604,567
受取手形及び売掛金	1,036,521	957,296
有価証券	2,312,987	2,308,741
営業投資有価証券	28,141	15,901
仕掛品	85,597	109,791
原材料及び貯蔵品	6,103	3,894
その他	288,698	488,543
貸倒引当金	△54,538	△83,174
流動資産合計	7,394,133	9,405,563
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,560,723	1,510,666
土地	4,878,640	4,878,640
リース資産（純額）	37,067	28,021
その他（純額）	41,149	34,701
有形固定資産合計	6,517,580	6,452,029
無形固定資産		
借地権	322,400	322,400
ソフトウエア	187,236	161,457
その他	10,687	8,188
無形固定資産合計	520,324	492,045
投資その他の資産		
投資有価証券	1,435,952	989,973
その他	1,661,715	1,253,480
貸倒引当金	△181,777	△146,442
投資その他の資産合計	2,915,891	2,097,011
固定資産合計	9,953,795	9,041,087
資産合計	17,347,929	18,446,650

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,730	7,109
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	―
リース債務	17,723	14,897
未払法人税等	534,606	587,806
賞与引当金	135	8,860
その他	1,275,774	1,528,982
流動負債合計	2,033,970	2,247,655
固定負債		
社債	500,000	600,000
リース債務	22,605	15,932
退職給付引当金	3,585	3,956
その他	330,928	302,394
固定負債合計	857,119	922,284
負債合計	2,891,090	3,169,940
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,125,231	3,125,231
資本剰余金	2,946,634	2,961,966
利益剰余金	10,056,099	10,757,791
自己株式	△1,710,049	△1,672,208
株主資本合計	14,417,916	15,172,781
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,035	66,617
為替換算調整勘定	3,287	8,550
その他の包括利益累計額合計	23,322	75,167
新株予約権	15,599	28,761
純資産合計	14,456,838	15,276,710
負債純資産合計	17,347,929	18,446,650

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年１月１日 至 平成25年６月30日）
営業収益	4,265,443	4,780,044
営業原価	2,600,448	2,908,393
営業総利益	1,664,995	1,871,651
販売費及び一般管理費	525,009	521,245
営業利益	1,139,986	1,350,405
営業外収益		
受取利息	4,465	5,039
受取配当金	12,011	12,781
貸倒引当金戻入額	1,688	15,012
その他	11,862	11,953
営業外収益合計	30,028	44,786
営業外費用		
支払利息	5,226	4,404
社債発行費	－	2,009
貸倒引当金繰入額	55,000	－
その他	6,996	4,468
営業外費用合計	67,223	10,883
経常利益	1,102,791	1,384,309
特別利益		
固定資産売却益	－	569
投資有価証券売却益	960	140,208
未払費用戻入額	4,164	－
特別利益合計	5,125	140,778
特別損失		
固定資産売却損	180	－
固定資産除却損	68	9
役員退職功労金	－	58,405
特別損失合計	248	58,414
税金等調整前四半期純利益	1,107,668	1,466,672
法人税、住民税及び事業税	280,114	572,576
法人税等調整額	161,165	△259,266
法人税等合計	441,279	313,309
少数株主損益調整前四半期純利益	666,388	1,153,363
少数株主損失（△）	△518	－
四半期純利益	666,907	1,153,363

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年１月１日 至 平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	666,388	1,153,363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33,407	46,582
為替換算調整勘定	545	5,263
その他の包括利益合計	33,953	51,845
四半期包括利益	700,342	1,205,208
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	700,861	1,205,208
少数株主に係る四半期包括利益	△518	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年１月１日 至 平成25年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,107,668	1,466,672
減価償却費	108,033	104,308
株式報酬費用	3,774	14,908
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△116,009	△6,699
退職給付引当金の増減額（△は減少）	354	370
前払年金費用の増減額（△は増加）	31,901	18,024
賞与引当金の増減額（△は減少）	6,252	8,632
投資有価証券評価損益（△は益）	106	651
投資有価証券売却損益（△は益）	△250	△142,353
営業投資有価証券評価損益（△は益）	△328	12,276
受取利息及び受取配当金	△16,476	△17,820
支払利息	5,226	4,404
社債発行費	－	2,009
為替差損益（△は益）	585	796
有形固定資産売却損益（△は益）	60	△569
有形固定資産除却損	68	9
役員退職功労金	－	58,405
売上債権の増減額（△は増加）	96,465	79,841
その他の資産の増減額（△は増加）	113,279	△1,700
その他の負債の増減額（△は減少）	△41,587	△76,690
その他	1,254	2,023
小計	1,300,377	1,527,501
利息及び配当金の受取額	25,591	29,252
利息の支払額	△5,212	△4,560
法人税等の支払額	△613,034	△520,003
法人税等の還付額	11,474	－
役員退職慰労金の支払額	－	△154,275
営業活動によるキャッシュ・フロー	719,195	877,914
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200,000	－
有価証券の取得による支出	△99,925	△203,518
有価証券の売却による収入	800,000	900,000
投資有価証券の取得による支出	△1,103,236	△457,609
投資有価証券の売却による収入	220,946	905,803
有形固定資産の取得による支出	△31,684	△7,436
有形固定資産の売却による収入	50	2,428
無形固定資産の取得による支出	△17,380	△78,687
長期貸付けによる支出	△5,000	－
長期貸付金の回収による収入	16,500	31,500
その他	△10	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△419,739	1,092,480

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年１月１日 至 平成25年６月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△8,791	△9,498
社債の発行による収入	－	97,990
長期借入金の返済による支出	－	△100,000
自己株式の取得による支出	△46	△109
自己株式の売却による収入	－	49,997
配当金の支払額	△391,760	△448,417
その他	△500	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△401,098	△410,038
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28	3,587
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△101,671	1,563,944
現金及び現金同等物の期首残高	4,357,245	3,790,605
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,255,574	5,354,550

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	経営コンサルティング事業	ベンチャーキャピタル事業	その他（注）１	計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
売上高						
外部顧客への売上高	4,168,153	－	97,289	4,265,443	－	4,265,443
セグメント間の内部売上高又は振替高	160	－	2,400	2,560	△2,560	－
計	4,168,313	－	99,689	4,268,003	△2,560	4,265,443
セグメント利益又は損失（△）	1,136,723	△12,874	13,201	1,137,050	2,935	1,139,986

（注）１ その他には、不動産賃貸収入、ＩＴ関連業務による収入等が含まれております。

２ セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去であります。

３ セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自 平成25年１月１日 至 平成25年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	経営コンサルティング事業	ベンチャーキャピタル事業	その他（注）１	計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
売上高						
外部顧客への売上高	4,669,912	－	110,132	4,780,044	－	4,780,044
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	6,550	6,550	△6,550	－
計	4,669,912	－	116,682	4,786,594	△6,550	4,780,044
セグメント利益又は損失（△）	1,349,370	△22,756	20,811	1,347,425	2,979	1,350,405

（注）１ その他には、不動産賃貸収入、ＩＴ関連業務による収入等が含まれております。

２ セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去であります。

３ セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

４．補足情報

(1) 受注及び販売の状況

① 受注実績

当第２四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
経営コンサルティング事業	4,725,784	＋9.0	4,363,441	＋11.3
その他	65,874	△23.3	21,985	△48.5

（注）１　経営コンサルティング事業については、会費収入、セミナー収入は継続収入であるため、コンサルタント収入についてのみ記載いたしました。
２　その他については、システムコンサルタント収入についてのみ記載いたしました。
３　金額は販売価格で表示しております。
４　上記金額には、消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

当第２四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
経営コンサルティング事業	4,669,912	＋12.0
ベンチャーキャピタル事業	－	－
その他	110,132	＋13.2
合計	4,780,044	＋12.1

（注）１　販売実績は、外部顧客に対する売上高を表示しております。
２　上記金額には、消費税等は含まれておりません。
３　総販売実績に対して10%以上に該当する相手先はありません。